

## 桜木中学校避難所運営委員会 令和5年9月9日に地域合同防災訓練を実施しました

地域合同防災訓練は桜木中学校の生徒を対象とした、桜町会、桜木中学校避難所運営委員会、桜木中学校 PTA による防災訓練です。学年によって訓練内容は異なりますが、今回は煙中訓練や簡易トイレの組み立て、携帯トイレの使い方や福祉用具を用いた高齢者疑似体験、AED 訓練等を実施しました。生徒の皆さんは楽しみながらも真剣に学んでいる様子で、町会役員やPTAの保護者の方も生徒と共に防災について学ぶことができました。また、このような機会は地域の人たちが顔を合わせる良い機会になります。災害時にはまず自助や共助が大切になるので、今後も継続して実施していきたいと思っております。



## 桜小学校避難所運営委員会 桜小避難所運営委員会の取り組み

桜小学校の避難所運営委員会では、月に1度 Zoom を使ってオンライン会議を行い、班ごとの課題について話し合ったり、情報共有を密に行っています。また、1年に1度はPTAやおやじの会の方にも参加を募り防災倉庫整理やサーチ&レスキュー訓練などにも取り組んでいます。

毎年2月に桜小学校で行われる「まもりんピックさくら」という防災授業の際には、実際の避難所生活を子どもたちに疑似体験させるコーナーを作り、自助、共助に加え在宅避難の大切さも伝えています。

そして、いま最も力を入れているのが避難所マニュアルのデジタル化です。避難所運営でやるべき項目をひとつずつ検証し、スマートフォンひとつあれば誰でも動けるマニュアルの完成を目指し、メンバーが一丸となって奮闘中です。



## 松丘小学校避難所運営委員会 PTA 向け避難所講習会実施！

過日、松丘小学校でPTA向け避難所講習会が行われました。大地震の際は松丘小学校が避難所になりますが、その運営は避難してきた方々で行わなければなりません。この講習会は、避難所生活について知っていただくことを目的として開催され、PTAの21名が参加してくださいました。

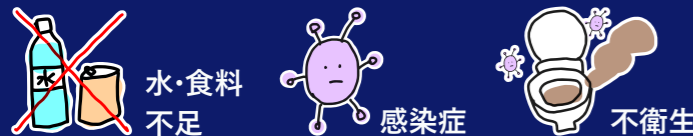
今回の講習会で学んだポイントを2つ紹介します。まずは、大地震後は下水管が損傷している可能性があるため、無事を確認できるまで水は流せないということです。これは避難所だけではなくご自宅の場合もそうです。もう1つは「在宅避難」の重要性です。避難所での生活は非常にストレスがたまりやすいため、ご自宅が無事ならプライバシーや心身の健康を保ちやすい「在宅避難」がオススメです。



## 在宅避難が基本！

地震が起きたら、避難所に行けば安心だよ！  
違います!!

指定避難所には多くの避難者が集まり、厳しい環境になることが予想されます。



自宅で生活できる状況であれば在宅避難が基本です。しかし、在宅避難するには事前の備えが必要です。

- ・自宅の安全対策
- ・備蓄品の準備
- ・正しい情報の入手方法の確認

災害時お家生活のヒント

今すぐ在宅避難の準備を始めましょう。



## 上町地区指定避難所の取り組み



### 指定避難所について

指定避難所は倒壊や火災で自宅に住めなくなった方々が一定の期間、ともに生活する場所です。上町地区では、区立小中学校5か所に指定避難所が開設されます。また、世田谷東町会は、城山小学校避難所運営委員会の運営にも関わっています。

## 弦巻小学校避難所運営委員会 遊び場まつりに避難所コーナーを設けました

令和5年10月28日(土)に弦巻小学校にて遊び場まつりを開催。避難所コーナーではマンホールトイレを設置し、避難者カードやペット登録カードを掲示しました。たくさんのお子様や保護者の方に見ていただくことができ、簡単ではありますが避難所について知っていただく良い機会になりました。また、昨年見た子が今年は友達に説明している様子も見られ、着実に防災に関する知識や情報が浸透していると感じました。



## 弦巻中学校避難所運営委員会 避難所運営訓練を行いました！

弦巻中学校避難所運営委員会は、令和5年12月9日に、弦巻中学校生徒の有志で結成された弦巻スチューデント・エイド (TSA) や、弦巻中学校 PTA と協力して避難所運営訓練を行いました。最初に、アルファ米とレトルトカレーで腹ごしらえをしました。アルファ米は案外おいしくて、おかわりをする人もいました。その後、トランシーバーの使い方の確認や、非常用トイレの組み立てなどをしました。訓練をとおして、日ごろから顔見知りを増やし、いざという時もお互いに気にかけてくれる関係をつくるのが大切だと感じました。今後は、地域の人を巻き込んだ取り組みを行っていきたく思いますので、その際は皆さんもぜひご参加ください！



第125号

F A X	03-5477-9220	事務局	発行日	令和6年4月1日
03-5477-9221	上町まちづくりセンター	推進協議会文化部会	身近なまちづくり	
03-5477-9224	上町まちづくりセンター			
03-5477-9221	上町まちづくりセンター			



「ふれあいひろば」HP



## 自転車走行ルールクイズ！～第2回～

クイズ形式で自転車走行ルールを再確認していきましょう。  
では問題です。正解はAとBどちらでしょうか？



1. 自転車の歩道での走行  
A: 自転車はすべての歩道を走行できる。  
B: 自転車は通行可能の標識がある場合は走行できる。ただし、車道寄りを徐行し、歩行者の通行を妨げるような場合は一時停止しなければならない。

2. 自転車の横断歩道での横断方法  
A: 自転車はいつでも走行して横断できる。  
B: 横断歩道は歩行者が横断する場所なので、横断中の歩行者の通行を妨げる恐れのある場合は押して歩く。

3. 自転車の乗車人員  
A: 16歳以上の運転手は幼児用座席を設けた自転車に小学校就学の始期に達するまでの者を1人に限り乗車させることができる。(さらに幼児1人を子守バンド等で背負っての運転も可能。)  
B: 16歳以上の運転手なら年齢にかかわらず自転車の2人乗りができる。

安全に気を付けて走行しましょう。

(桜町会 T・T)

こたえは紙面の右下に記載。

## 中央防波堤埋立処分場に行ってきました

上町地区ごみ減量・リサイクル推進委員会のバス研修会で、中央防波堤埋立処分場に行ってきました。

夢の島と言われた初期の処分場は臭いや害虫が発生していましたが、今はごみを細かく粉碎し、20分の1の分量の灰にして、土でサンドイッチにして、山にしていました。臭いや害虫もなく、海への汚染についても考慮された、広くて見晴らしの良い場所でした。

しかし、中央防波堤埋立処分場には都内23区からのごみが集まっていて、このままの状況が続けば、海の上にある7つの処分場は約50年後に満杯になるとのことでした。

今後、一人ひとりがReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3Rで、ごみを減らす努力を続けていかなければならないと思いました。(桜町会 N・Y)



## 馬事公苑リニューアル

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、平成29年1月から休苑し、馬術競技の会場になったJRA馬事公苑が、令和5年11月3日にリニューアルオープンしました！



## 上町イベント情報

日程	イベント	会場
6月1日(土)	上町地区古着・古布回収	上町管内7か所
6月1日(土)	フードドライブ	上町まちづくりセンター
7月中旬	ホタル祭りとサギ草市	天祖神社周辺
7月下旬	健康体操教室	上町まちづくりセンター
7月下旬	夏の寄せ植え講習会	上町まちづくりセンター

詳しくは区のおしらせ(毎月25日号)をご確認ください。

## 日赤上町分団からのお知らせ

5月1日より日赤活動資金募集運動が始まります。みなさまのご協力をお願いいたします。

## 災害は忘れた頃にやってくる

「災害は忘れた頃にやってくる」とは、寺田寅彦博士の言葉と聞いています。災害など自分のところには来ないだろうと高を括っているとドンとぶち当たるという警句でしょう。

さて、今は、関東大震災から100年の区切りにあたります。ちょうど、「聞き書きから学ぶ歴史」と題した、ラジオを聞きました。作家森まゆみさんは、地域雑誌に、長年、関東大震災の実体験を掘り起こし載せていたものを、震災100年を機に記事を再編集して『聞き書き・関東大震災』にまとめました。その過程で教えられた災害への備えを語ったものです。聞いていて、現代にも通じると思ったのが、公園の防災機能でした。上野のお山の森が類焼をおさえ、不忍池の水が人々をうるおしたというのです。この公園に被災者が駆け込み、難を逃れ、復興への大きな役割を果たしました。

都市における公園は、災害時の避難場所となり、災禍の歯止めとなり、また豊かな木々は日常大気を浄化します。近隣では農地の宅地への転用が進んでいますが、成り行きにまかせずに、緑地の保護、公園の整備に怠りなくお願いしたい。備えあれば憂いなしです。(松丘町会 M・K)

## ご存知ですか？『世田谷の市民緑地』

市民緑地は、世田谷区に残された民有地のみどりの保全のために指定されている緑地です。区と連携して市民緑地を運営している一般財団法人世田谷トラストまちづくりが土地所有者と契約を結んでおり、地域の憩いの場として一般に公開しています。

その一つ、「弦巻4丁目松の木鈴木」のネーミングに惹かれ、訪れてみました。元々、松の木鈴木さんと呼ばれていたお家で、立派な松の木が何本もあり、散歩できるようになっていました。庭で取れた果実に自然を感じ、四季折々の風が感じられる所でした。静けさの中で小鳥の啼き声が印象に残りました。

区内にはこのような場所がいくつもあるようなので、また他の所にも行ってみたいと思います。(東町会 K・T)



## 世田谷区立郷土資料館

世田谷区立郷土資料館が都内最初の公立地域博物館であることをご存じですか。1964年(昭和39年)に開館して今年で60年。一昨年春からの改修工事が終わって昨年8月に再開館しました。

11月には、特別展「宗教美術の造形(かたち)」に行き、資料館が所蔵している作品や保管している作品の合計50点をじっくり観ることができました。特に、資料館が薦める数ある作品の中でも、鎌倉時代の作品2点、初公開で細密性が素晴らしい当麻曼荼羅図と、顔立ちが端正で流れるような衣紋を纏った阿弥陀如来立像が良いと私は思いました。

郷土資料館は、歴史に痕跡を残した旧石器時代から、吉良氏など有力武家が出現した中世、世田谷代官を務めた大場家の近世を経て、近代/現代までの郷土の貴重な文化財を収集保管して展示しています。またの機会に、これらの文化財を紹介させていただきたいと思います。(弦巻町会 M・A)

## 「2024 世田谷区遺跡発掘調査速報展—最新の調査成果から」

令和5年度に行った遺跡の発掘・整理調査成果を、パネルと出土品(縄文土器、埴輪、石器など)で報告します。会期:令和6年4月7日(日)~6月23日(日) /会場:展示室2(旧企画展示室/新館2階)の一部

## あとかぎ

あとかぎを仰せつかり、自分の毎日にあるささやかなこと、身近にある他愛もない喜びについて改めて考えてみました。友人の優しい言葉や、咲く花で知る季節の動き、春が近づくにつれて伸びる日脚などです。世界で日々起こっている災害や戦争を思うとやりきれない気持ちになりますが、大きな苦しみから目を背けるためにはなく、私たちがそんな世界を毎日漕ぎ切るためのオールとして、小さな喜びがあればと思います。(二丁目町会 M・W)

## 編集委員

網敷 光剛 鈴木 陽子  
伊藤 美登里 高口 徹生  
奥本 美和 立石 かほる  
金好 恵美子 中川 トク子  
小松 正佳 渡邊 美保  
椎谷 恵子